

がん 何でも説明会 2012



肝臓がん

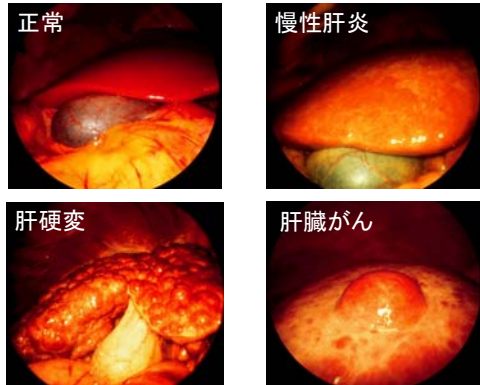
秋田県肝疾患診療ネットワーク
肝炎専門医療機関



くらみつ内科クリニック
倉光智之

<http://www.kuramitsu-clinic.com/>

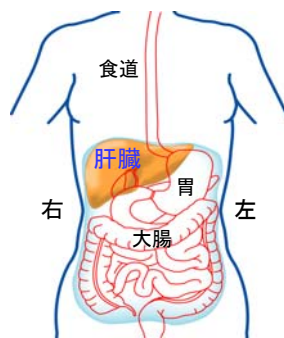
肝臓の表面と病気



肝臓はどこにある？大きさは？

肝臓は右の上腹部にあります。
重さは1.0kgから1.5kgあり、体重の約50分の1をしめています。
病気になっても自覚症状が出にくく、“沈黙の臓器”と呼ばれています。

<体を正面から見て>

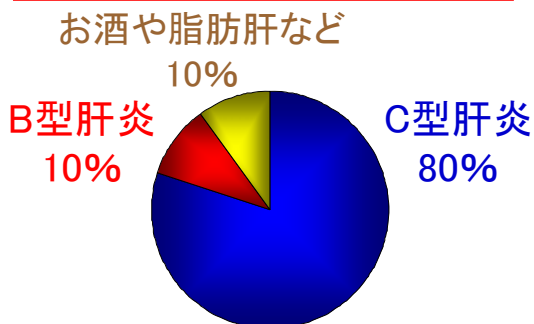


肝臓がんになりやすい人は決まっています！

知っていましたか？

肝臓がんになりやすい人は決まっています。まず、自分が肝臓がんになりやすいかどうか、チェックしてみてください。

肝臓がんの原因(日本)



肝臓がんになりやすいか4つのチェック項目！

1. C型肝炎ウイルスに感染している
2. B型肝炎ウイルスに感染している(B型肝炎キャリア)
3. お酒をたくさん飲む
4. 脂肪肝、あるいは糖尿病、あるいは肥満がある

1-4いずれも当てはまらない方

肝臓がんになる可能性は極めて低いです。安心してください！

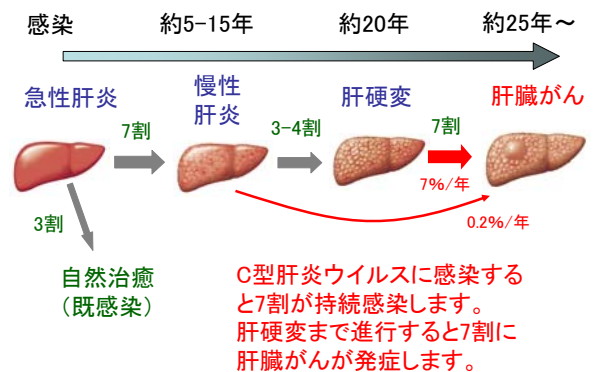
1つでも当てはまった方

肝臓がんになる可能性があります。以下の注意を良く読んでください！

1に当てはまる方(C型肝炎に感染している方)

肝臓がん患者の8割はC型肝炎ウイルスの感染者です。すぐに肝臓専門医のいる医療機関を受診してください。

C型肝炎は持続感染すると高率に肝臓がんを発症します



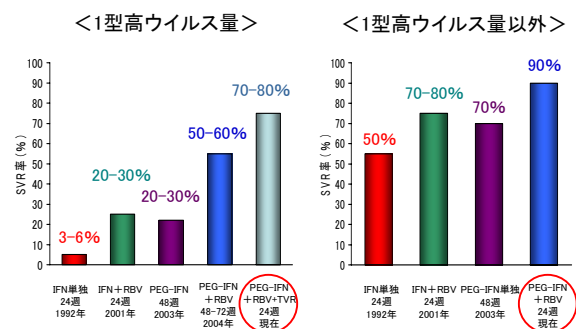
C型肝炎のインターフェロン治療で治る病気です！

肝臓がんの原因の8割を占めるC型肝炎は治る病気になっています。

最近のインターフェロンを中心とする治療で、治りやすいウイルス型の方で約90%、治りにくいタイプの方でも約70-80%でウイルスを排除できます。

C型肝炎を治せば将来の肝臓がんは防げます！

インターフェロン初回治療例での治癒率の進歩

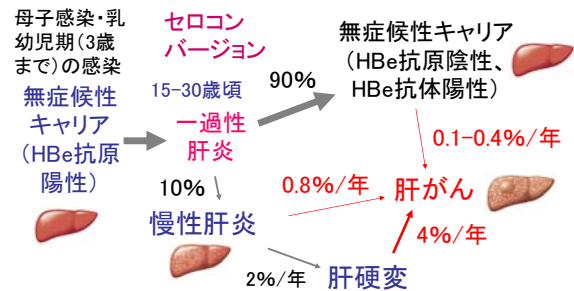


参考: 国内開発治療成績より抜粋

2に当てはまる方(B型肝炎に感染している方)

肝臓がんの原因の1割は**B型肝炎ウイルス**の感染者です。B型肝炎はウイルス自体に発がん性があるため難しい病気です。一度、肝臓専門医の診察を受けてください。

B型肝炎ウイルス感染者は必ず定期受診を！



B型肝炎ウイルス自体に発がん性があるためすべての感染者に発がんの危険性がある！

定期検査が大事です

B型肝炎は病気の進行を抑えることが可能です！

体からB型肝炎ウイルスを排除することは困難ですが、**インターフェロン治療**あるいは**拡散アナログ製剤の内服治療**で病気の進行を止めることが可能です。

1, 2に当てはまるかわからない方 (ウイルス肝炎を調べたことがない方)

C型肝炎、B型肝炎にかかっているかどうかは簡単な血液検査でわかります。

無料肝炎検診の制度もあります (資料は後のほう)。

ウイルス肝炎の検査を必ず一度 受けてください。

3に当てはまる方(お酒をたくさん飲む方)

慢性肝炎や肝硬変になっていないか、医療機関で調べてください。常習飲酒家や大酒家ではありませんか？アルコール依存症になっていませんか？

適量、休肝日(1週間に2日が理想です)をしっかり守りましょう。

常習飲酒家・大酒家とは

常習飲酒家 : 日本酒で**1日3合以上** (ビールなら大ビン3本、ウイスキーならダブル3杯)を**5年以上** 飲んでいる人

大酒家 : 日本酒で**1日5合以上**を**10年以上** 飲んでいる人

大酒家
⇒高率に肝硬変になっています

飲酒の適量

1日の飲酒が純アルコール量で
男性で20gまで
女性で10gまで です。

日本酒に換算すると、1日の飲酒量が、男性では1合まで、女性では0.5合までです。非常に少ないと感じますが、これが国際的に常識となっている“健康のための飲酒量”です。

飲んだ純アルコールの量の計算法

純アルコール量(g)
= 飲酒量(ml) × 度数(%) ÷ 100 × 0.8※
※ 0.8はアルコールの比重

計算例1: ビール350ml(アルコール度数4.6%)を飲んだ場合
 $350\text{ml} \times 4.6\% \div 100 \times 0.8 = 12.9\text{g}$

計算例2: 焼酎50ml(アルコール度数25%)を150mlのお湯で割って3杯飲んだ場合
⇒あくまでも飲んだ純アルコール量が問題!
 $50\text{ml} \times 3(\text{杯}) \times 25\% \div 100 \times 0.8 = 30\text{g}$

1日の飲酒の適量は
純アルコールで男性は20g、女性は10g

<純アルコール20gは>

ビール	日本酒	ワイン	ウイスキー	焼酎	チューハイ
5%	15%	12%	43%	25%	7%
1合	1合	グラス2杯	ダブル1杯	コップ半分	
500ml	180ml	200ml	60ml	100ml	350ml



健康のために飲酒の適量を守りましょう!

アルコール依存症

仕事や家庭などよりも飲酒を優先させてしまう状態です。

アルコール依存症は“飲酒量をコントロールできない病気”です。そのため依存症は節酒や禁酒では治らず、“一生断酒”が必要です。

体内のアルコールが減ってくると、離脱症状が現れます。代表的な症状には、手のふるえ、落ち着かない、睡眠障害、発汗異常などがあります

4に当てはまる方(脂肪肝、糖尿病、肥満)

脂肪肝、糖尿病、肥満などから慢性肝炎や肝硬変、肝臓がんが発症する場合があります。一度は医療機関で肝臓は大丈夫か調べてください。

生活習慣病の管理をしっかりしましょう。

脂肪肝(肝臓がメタボな状態)

脂肪肝の3大原因: 肥満、糖尿病、アルコール多飲

<腹部超音波検査で診断>

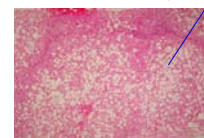


本来は肝と腎は同じ色に見えます。肝臓に脂肪がつくと白っぽくなります。上の写真では腎に比べ肝が白いですね。

正常肝の組織



脂肪肝の組織 脂肪滴



肝臓の検査の代表は超音波検査



- 1)安全
 - 2)簡便
 - 3)高性能
 - 4)検査可能臓器が多い
 - a)肝臓、胆のう、膵臓、腎臓などの腹部臓器
 - b)甲状腺、乳腺などの体表臓器
 - c)心臓
- ※超音波は空気と骨を通過できないため、肺や骨の観察はできないが、それ以外の体のほぼすべての部分を検査可能。最近では超音波機械の性能の向上により、関節の中の状態や食道、胃、腸などの消化管も検査可能。造影超音波も登場。

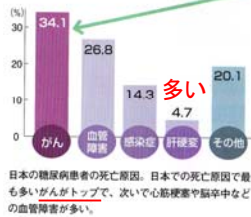


非アルコール性脂肪肝炎(ナッシュ) (nonalcoholic steatohepatitis :NASH)

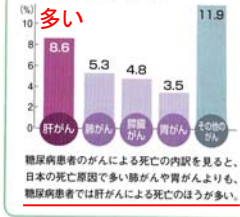
ナッシュは飲酒歴がないにもかかわらず、アルコール性肝炎と同じように進行して、肝硬変や肝臓がんを発症する病気です。
ナッシュは肥満・糖尿病・高脂血症に合併することが多く、**女性に多い**特徴があります。
日本では成人の1%超、約150万人がナッシュと推定されています。

糖尿病の方の死亡原因

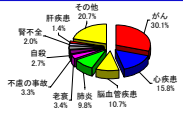
・糖尿病の患者さんの死亡原因



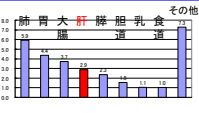
がんによる死亡の内訳



日本の死因順位別割合 (2009年)



日本のがん部位別死亡割合 (2009年)



糖尿病の方は脂肪肝炎に要注意！

糖尿病の患者さんの死因は一般の人に比べ、**肝硬変などの肝疾患が多い**こと、更にはがんの部位別死因のトップは**肝がん**ということがわかっていきます。

これは糖尿病患者には**脂肪肝炎(ナッシュ)**が多く、それによる肝硬変や肝がんが多いことを示しています。